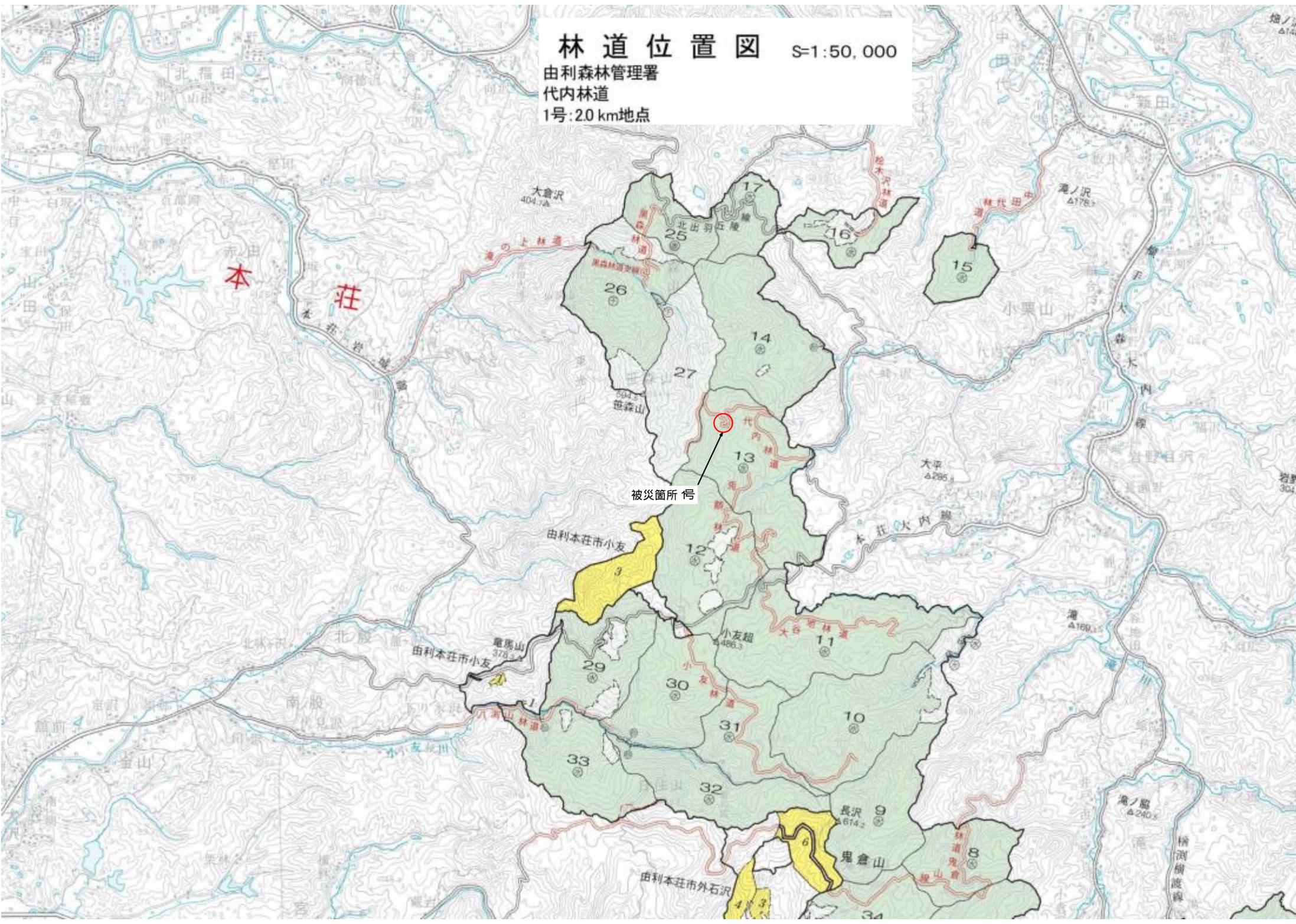


# 林道位置图 S=1:50,000

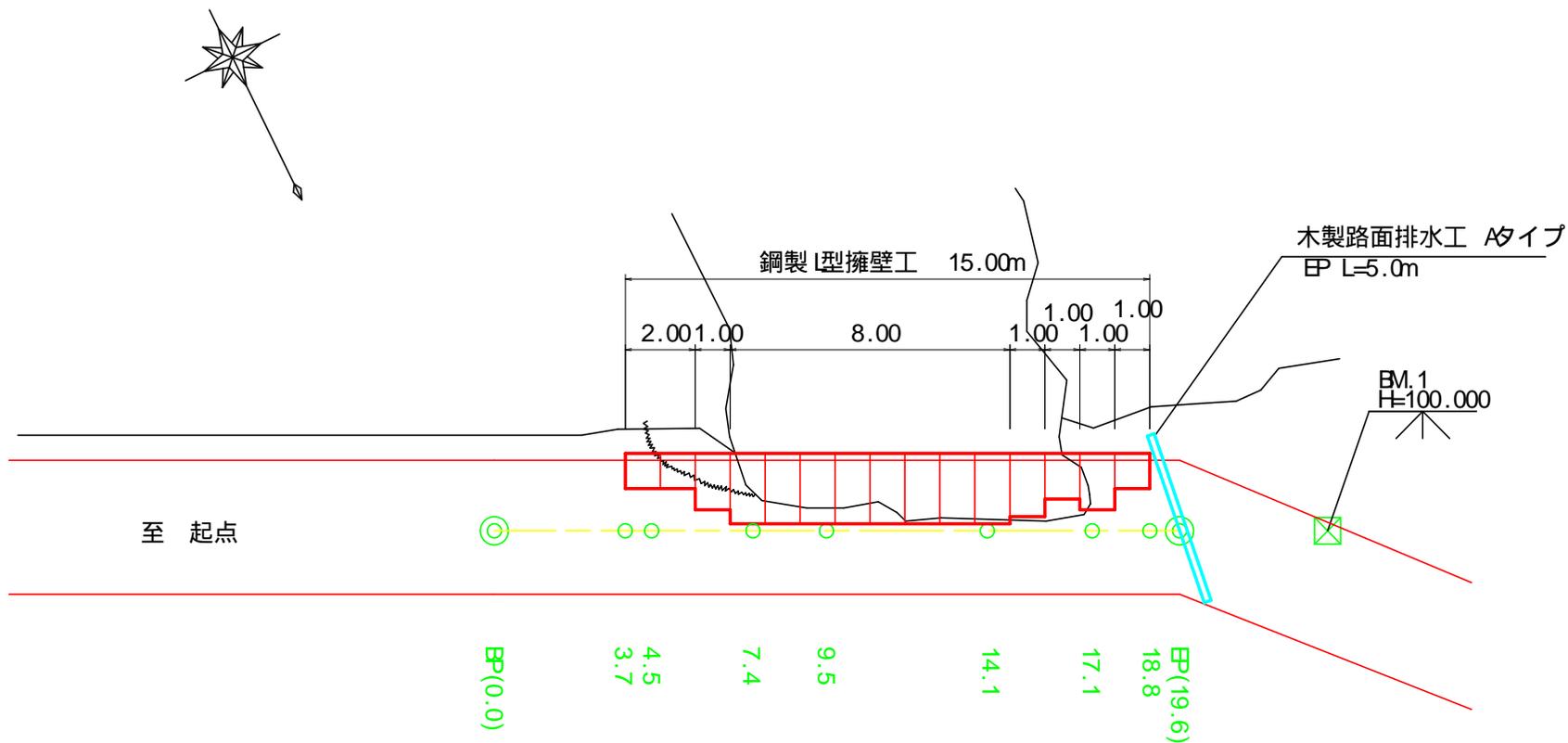
由利森林管理署  
代内林道  
1号:2.0 km地点



被災箇所

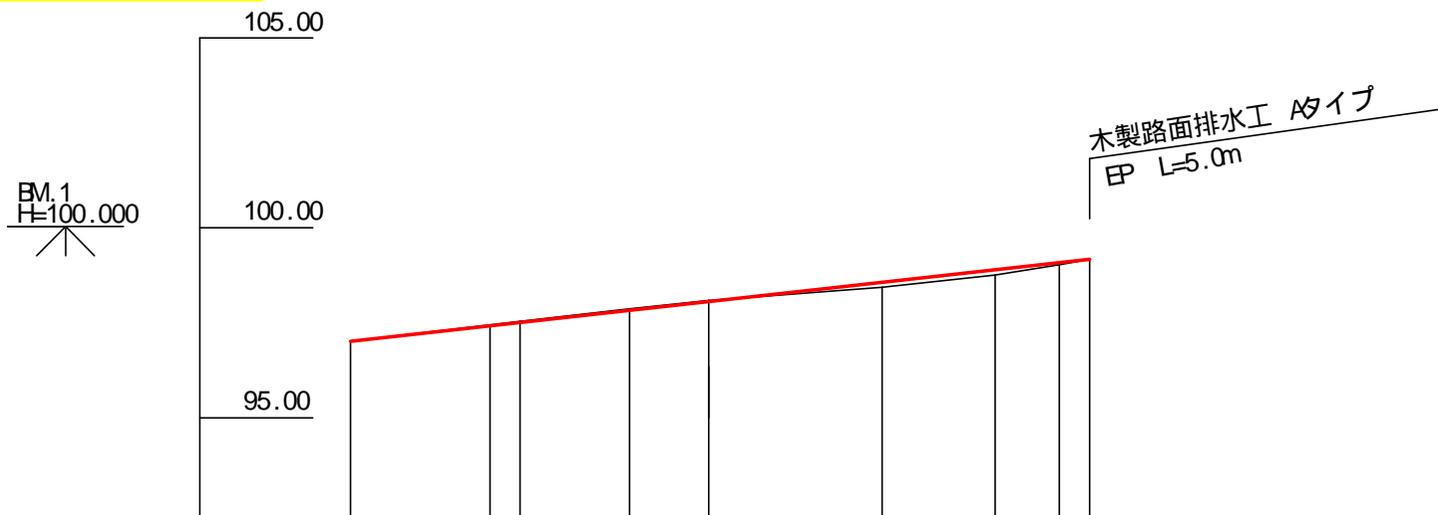
図名	平面図 1/1
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	縦断面図 1/1
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	縦 1:200 横 1:200

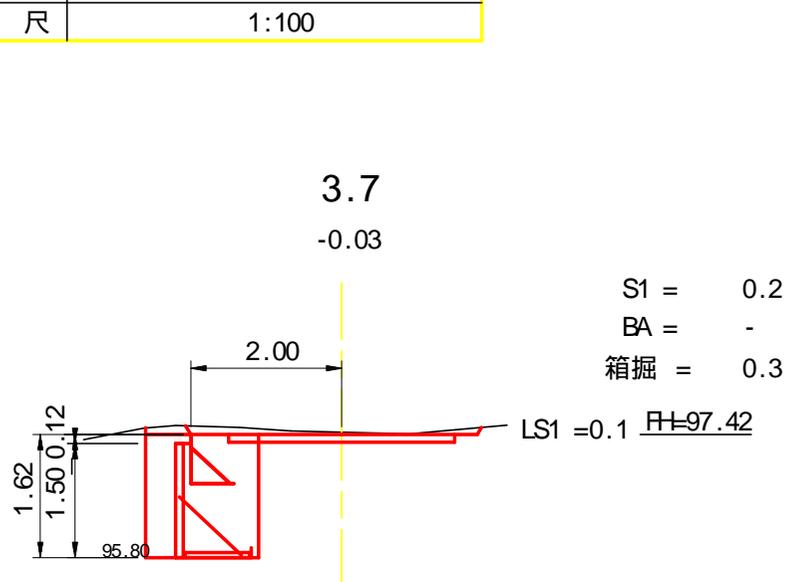
被災番号 1号 - 2.0km地点



勾配	11.0% 19.6								
盛土高	0.00					0.12	0.14	0.05	0.00
切土高	0.00	0.03	0.04	0.04	0.03			0.00	0.00
計画高	97.01	97.42	97.50	97.79	98.06	98.56	98.90	99.08	99.17
地盤高	97.01	97.45	97.54	97.83	98.09	98.44	98.76	99.03	99.17
測点	EP(0.0)	3.7	4.5	7.4	9.5	14.1	17.1	18.8	EP(19.6)
曲線	—————								

図名	横断面図	1/3
署名	東北森林管理局 由利森林管理署	
名称	代内林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

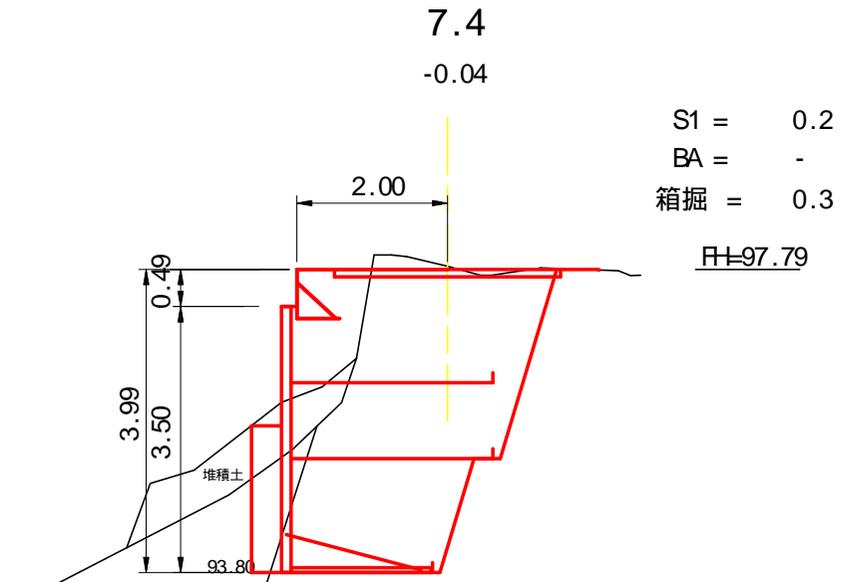
被災番号 1号 - 2.0km地点



S1 = 0.2  
BA = -  
箱掘 = 0.3

LS1 = 0.1 FH=97.42

3.7  
-0.03

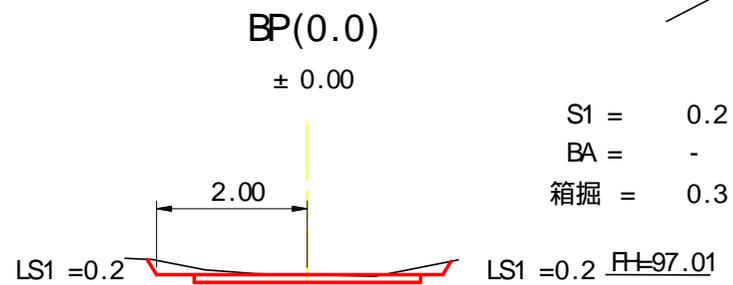


S1 = 0.2  
BA = -  
箱掘 = 0.3

FH=97.79

7.4  
-0.04

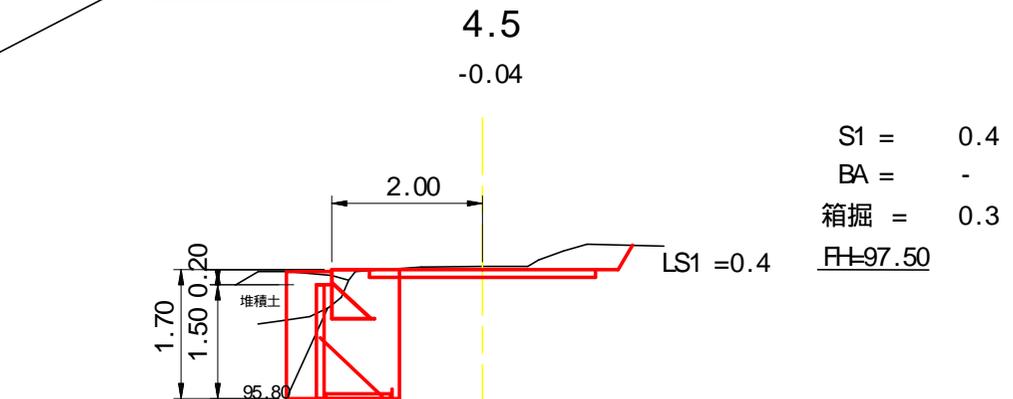
推定すべり面



S1 = 0.2  
BA = -  
箱掘 = 0.3

LS1 = 0.2 FH=97.01

BP(0.0)  
± 0.00



S1 = 0.4  
BA = -  
箱掘 = 0.3

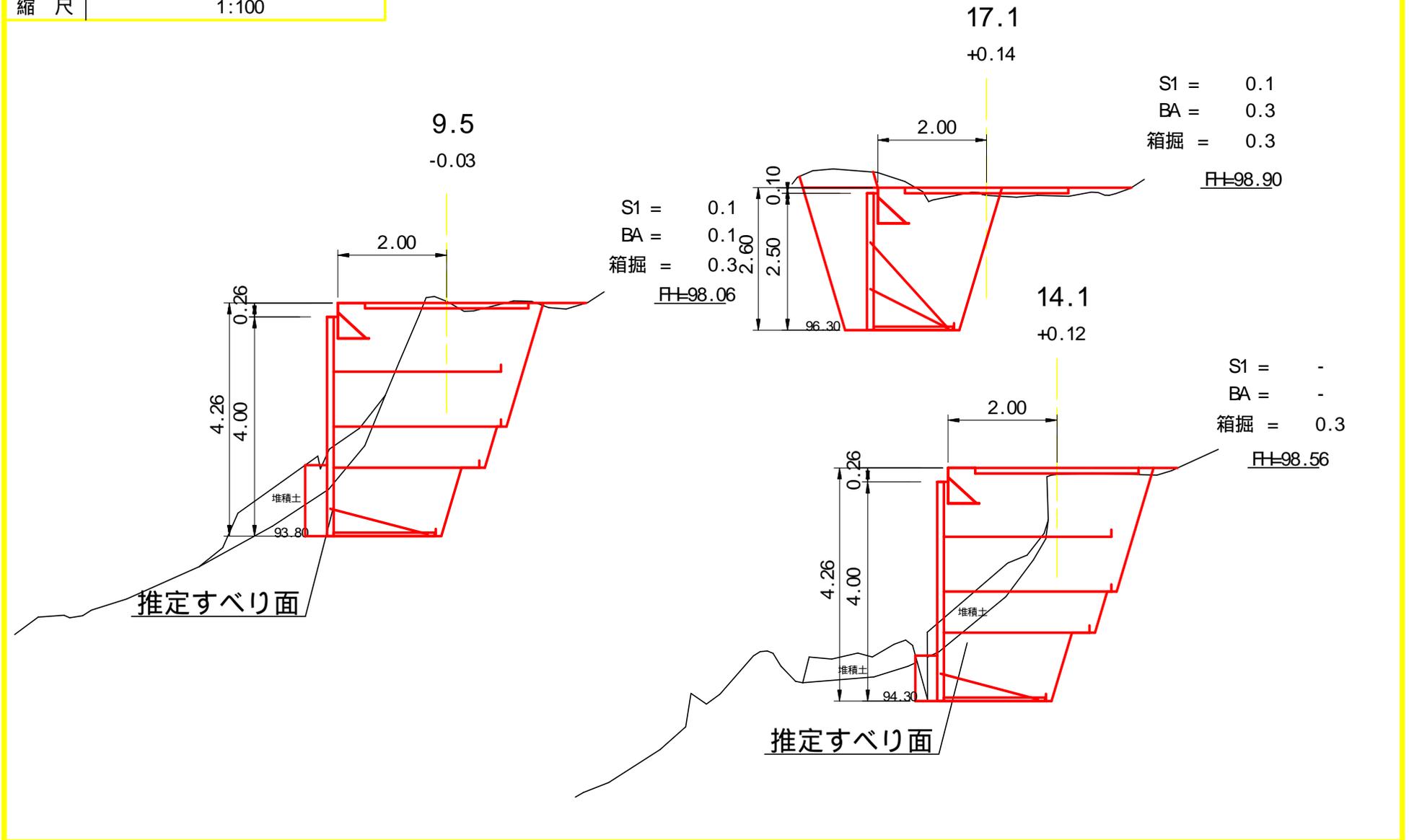
FH=97.50

4.5  
-0.04

推定すべり面

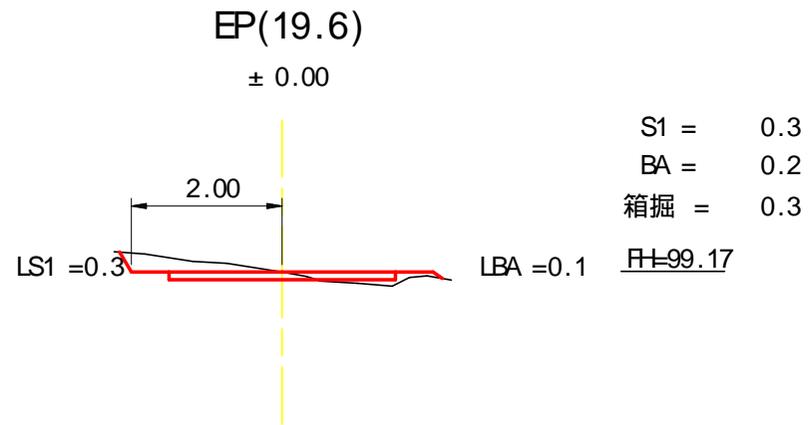
図名	横断面図 2/3
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 3/3
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



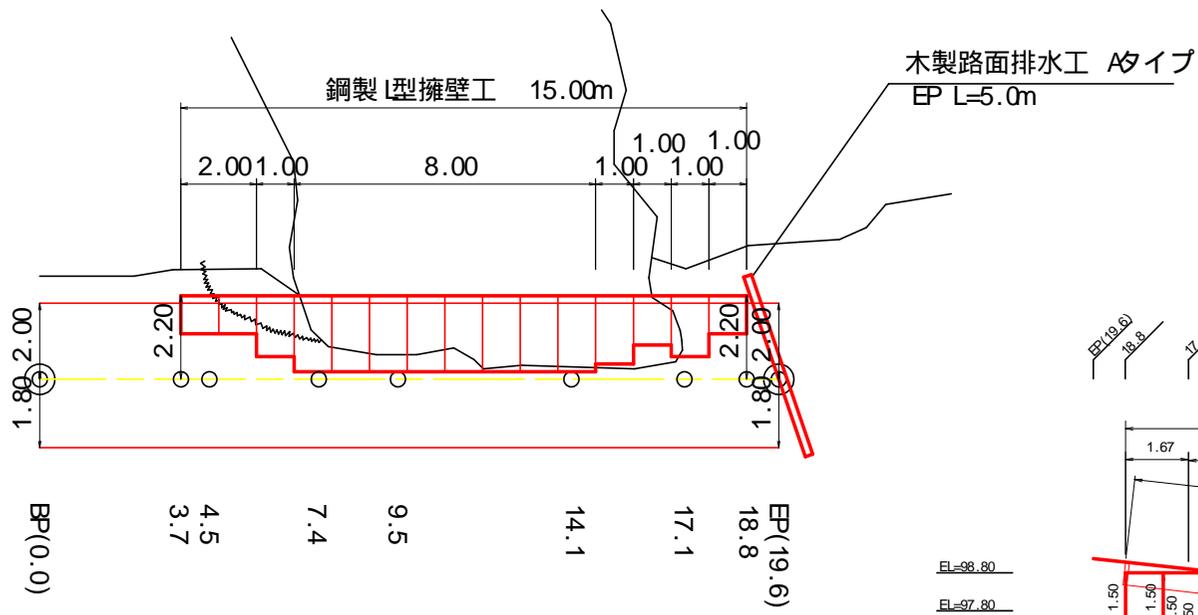
木製路面排水工 タイプ L=5.0m  
延長は平面図より

図名	構造図 1/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

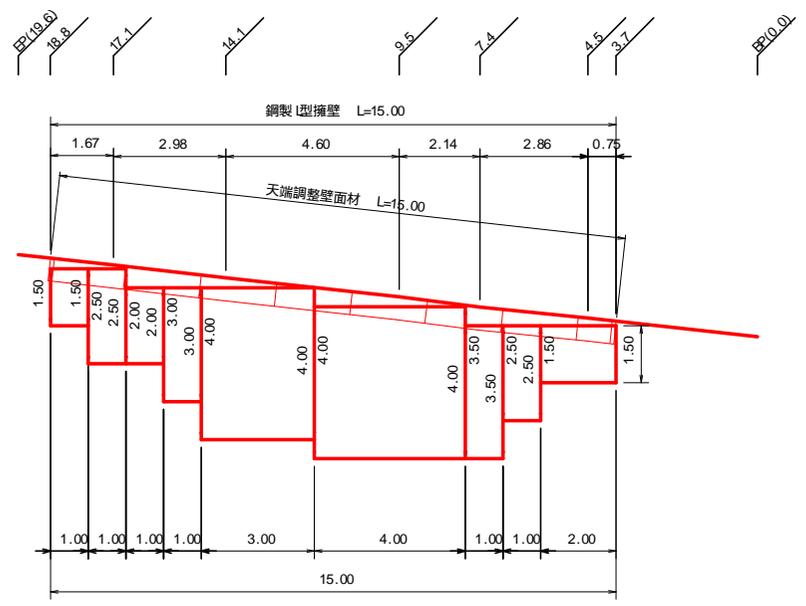
被災番号 1号 - 2.0km地点

鋼製I型擁壁工

平面図



正面図

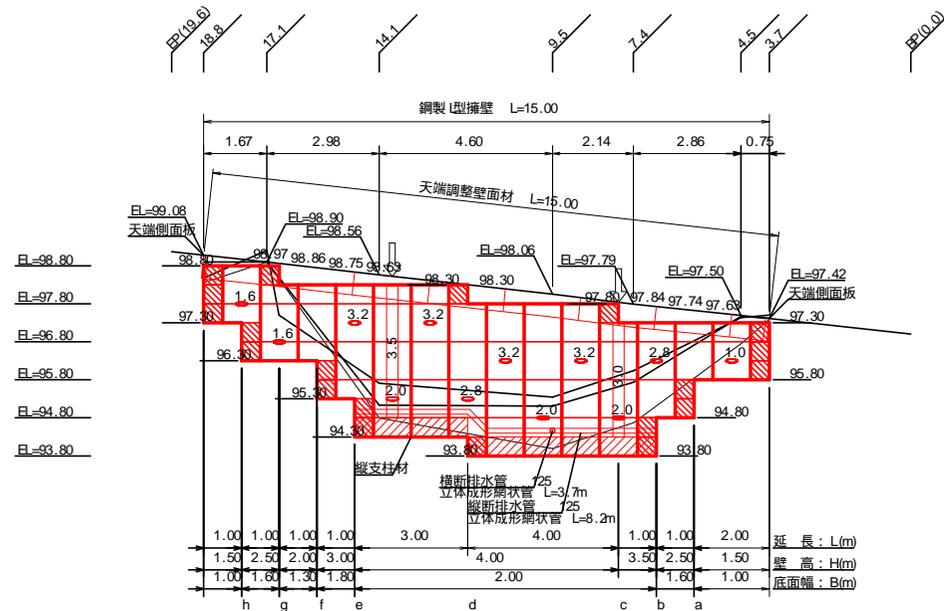


- EL=98.80
- EL=97.80
- EL=96.80
- EL=95.80
- EL=94.80
- EL=93.80

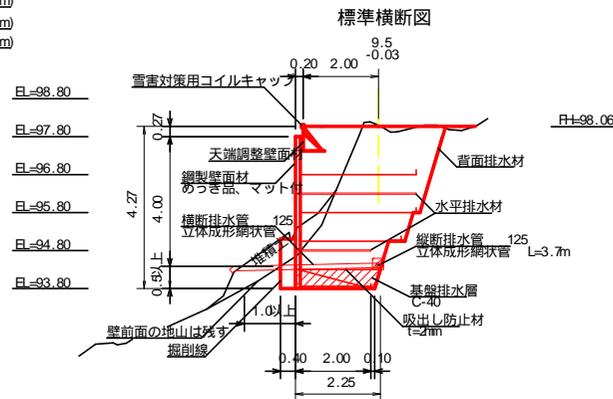
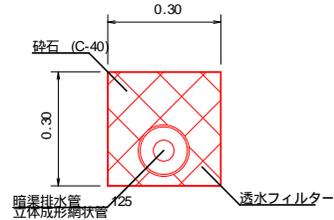
図名	構造図 2/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 1号 - 2.0km地点

鋼製I型擁壁工展開図



縦横断排水溝詳細図 S=1:10



凡例

- 壁面材 (0.5m)
- 端部壁面材 (0.5m)
- 排水材 (10x300)
- 基礎排水層 (C-40)
- 背面排水材設置位置
- 現況地形線
- 埋戻し線
- 水平土被りライン (土砂:1m 岩:0.5m)

設計条件	
盛土材の内部摩擦角	= 30°
盛土材の単位体積重量	= 18.0kN/m <sup>3</sup>
載荷重 (活荷重)	w= 10.0kN/m <sup>2</sup>

最大地盤反力度	
測点 9.5 常時	q <sub>max</sub> = 136kN/m <sup>2</sup> q <sub>a</sub> =300kN/m <sup>2</sup>
測点 9.5 積雪時	q <sub>max</sub> = 149kN/m <sup>2</sup> q <sub>a</sub> =300kN/m <sup>2</sup>

特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。</li> <li>・門頂の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないよう掘削面に対策を施すこと。</li> <li>・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか確認すること。</li> <li>・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。</li> </ul>

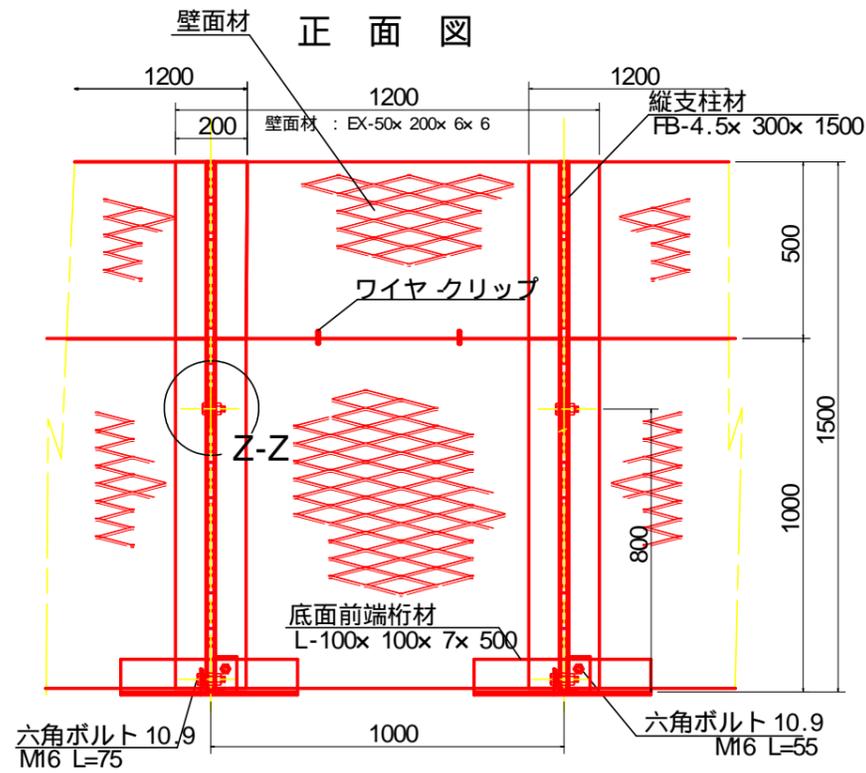
施工管理基準値	
項目 (頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材 500m <sup>2</sup> 回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JISA 1210(A) 法による最大乾燥密度の 98% (A、C、D) 以上とする。</li> <li>・ 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。</li> </ul>
完成後の壁面勾配	・ 所定の壁面勾配 ± 0.03H (H:壁高)

図名	構造図 3/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	図示

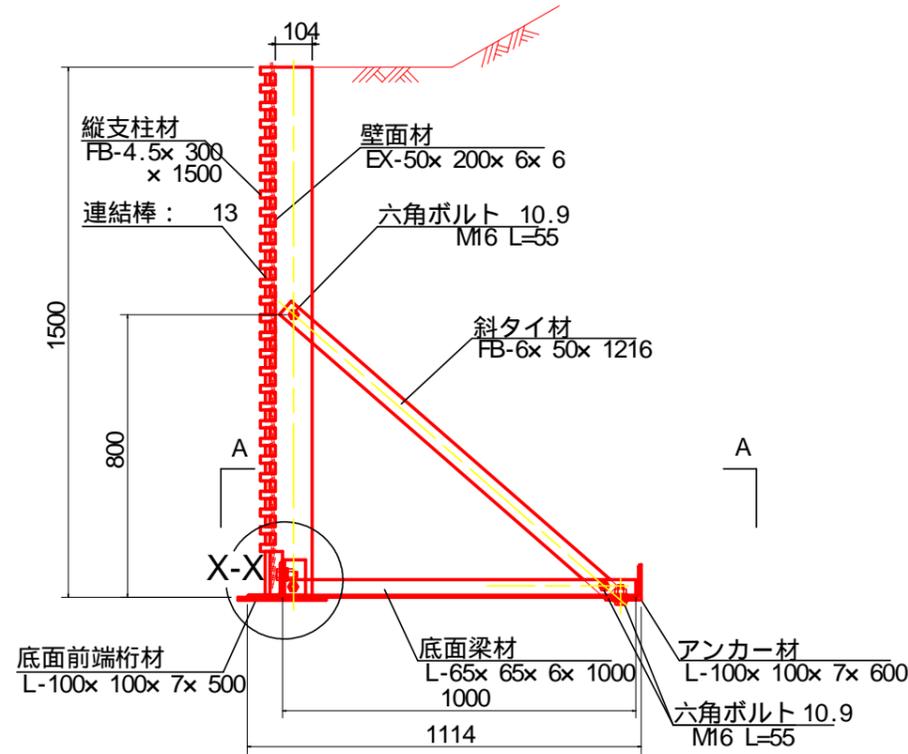
# LXウォール構造詳細図 (s=1/20)

被災番号 1号 - 2.0km地点

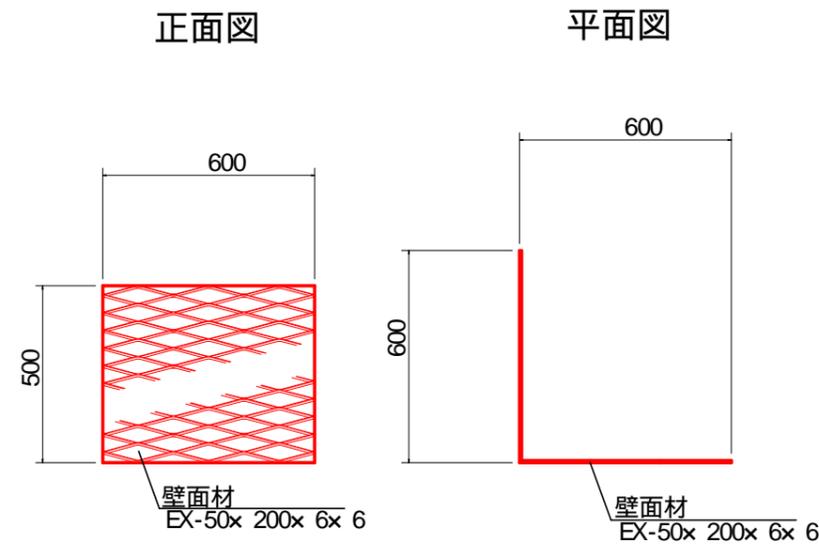
- H=1.50m -  
断面図



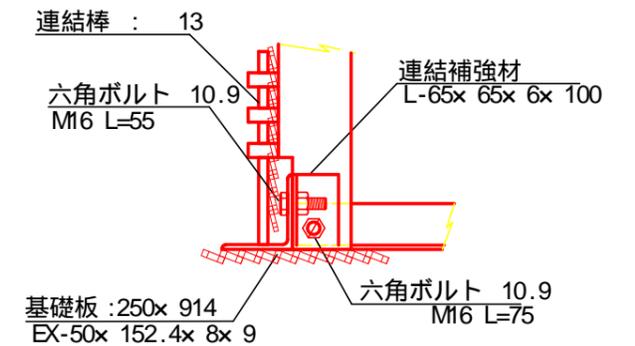
平面図 (A-A)



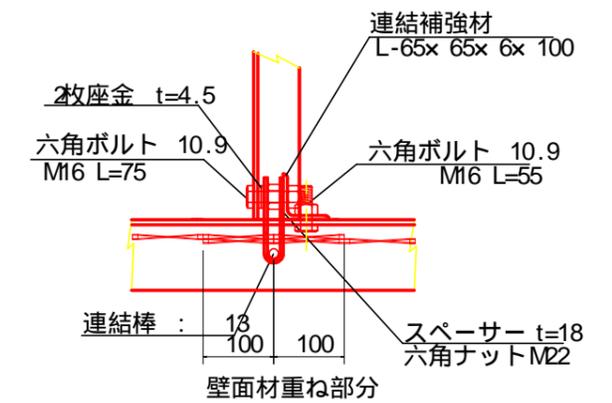
端部壁面材 (側面板)



部分詳細図 (s=1/10)  
X-X

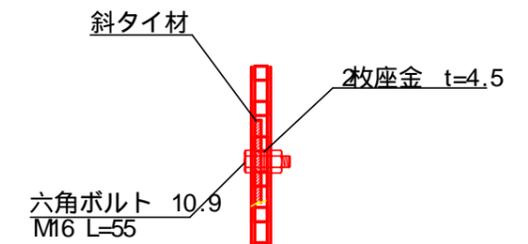


Y-Y

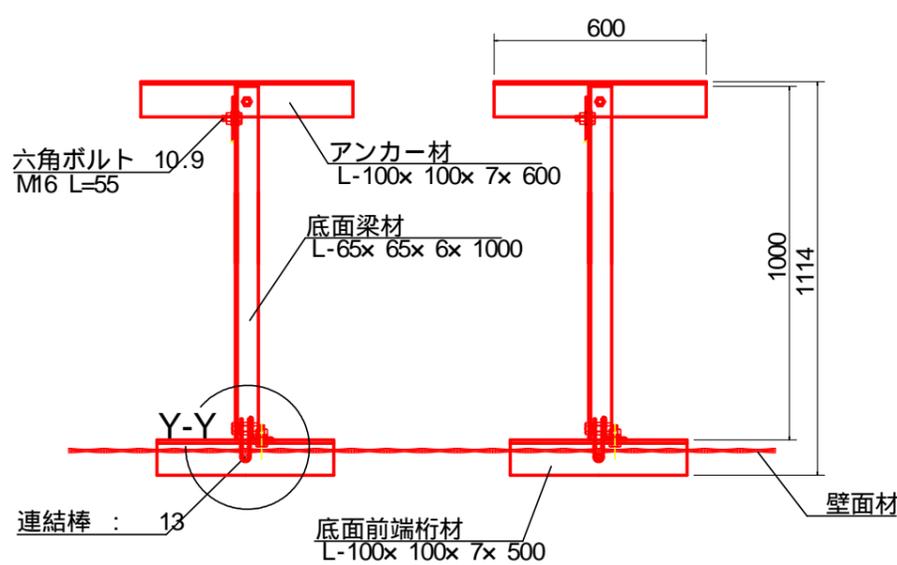


壁面材重ね部分

Z-Z



注: 斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

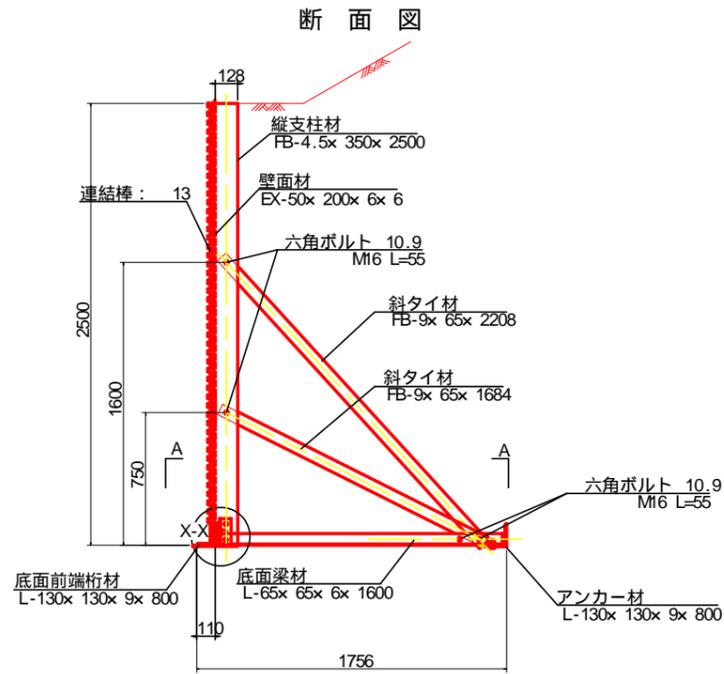
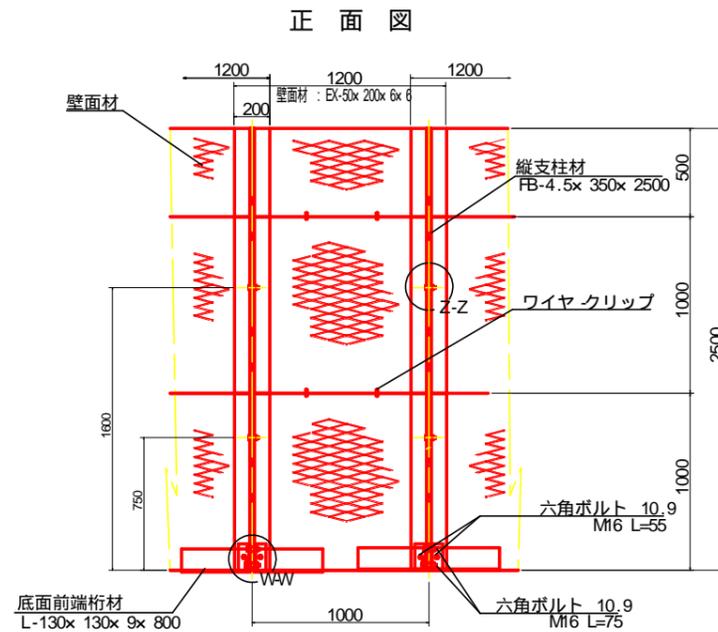




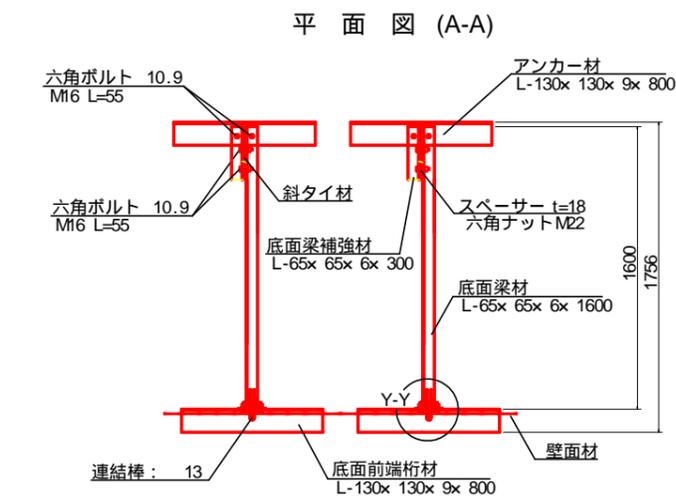
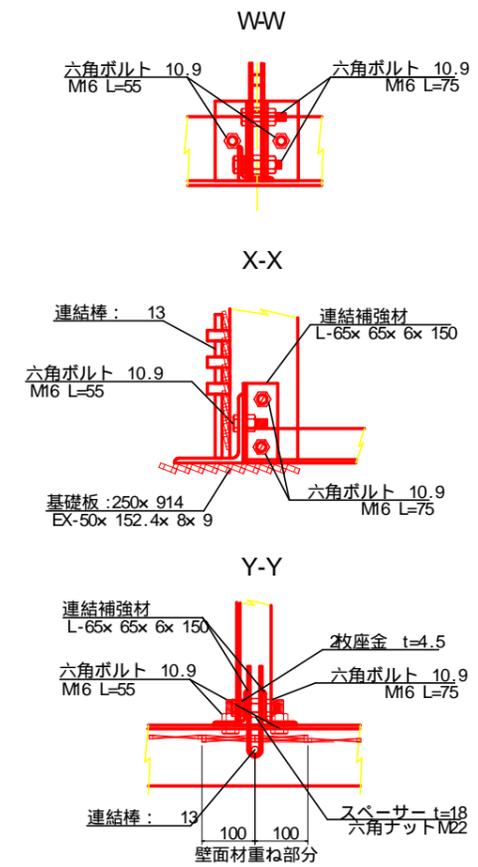
図名	構造図	5/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署	
名称	代内林道 災害復旧工事	
縮尺	図示	

被災番号 1号 - 2.0km地点

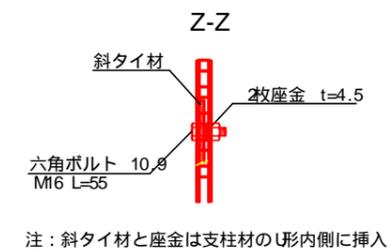
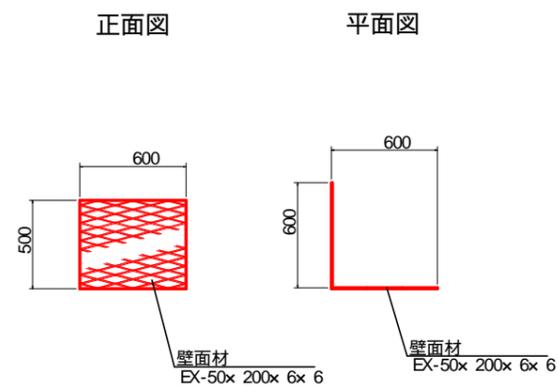
LXウォール構造詳細図 (s=1/40)  
- H=2.50m -



部分詳細図 (s=1/10)



端部壁面材 (側面板)



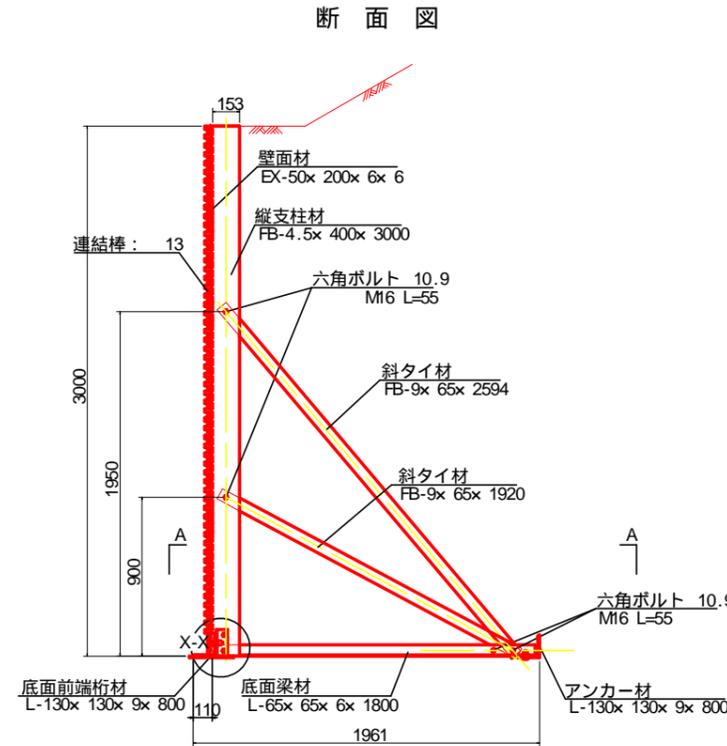
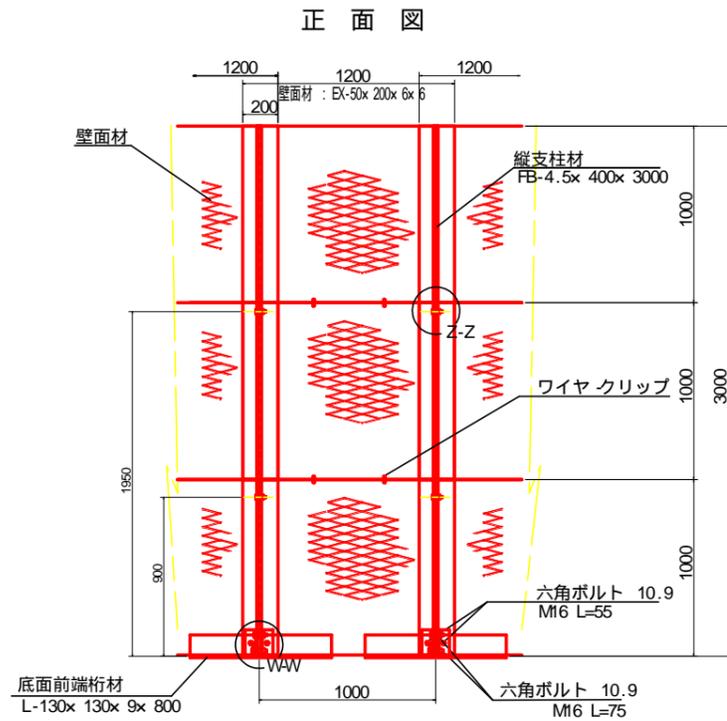
注：斜タイ材と座金は支柱材の形内側に挿入

図名	構造図 6/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	図示

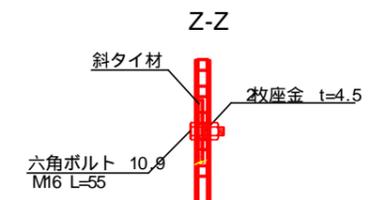
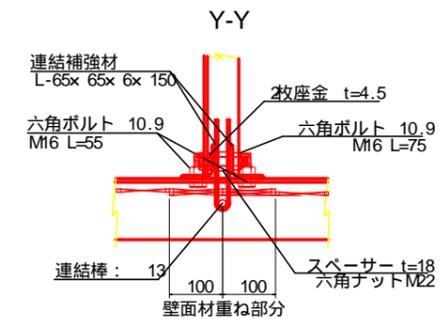
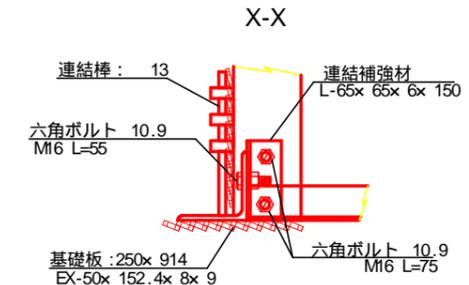
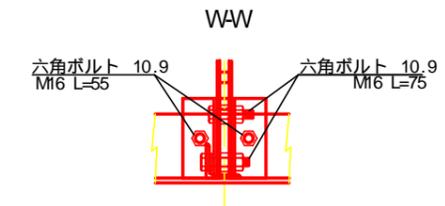
被災番号 1号 - 2.0km地点

Lウォール構造詳細図 (s=1/40)

- H=3.00m -

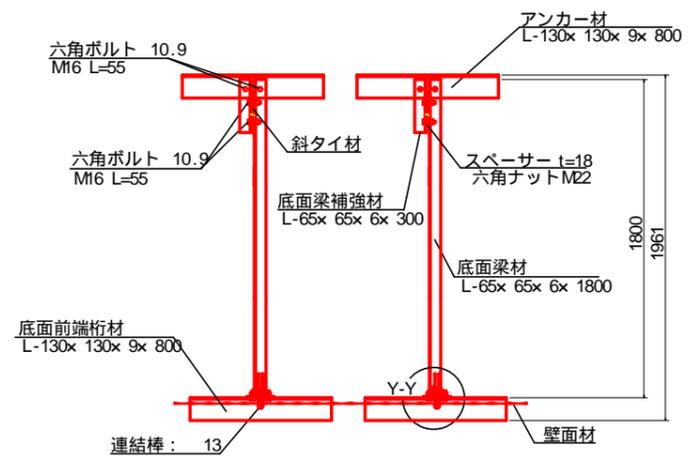


部分詳細図 (s=1/10)

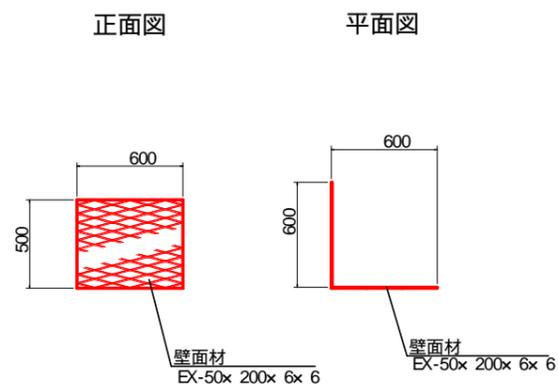


注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

平面図 (A-A)



端部壁面材 (側面板)



壁面材 EX-50x 200x 6x 6



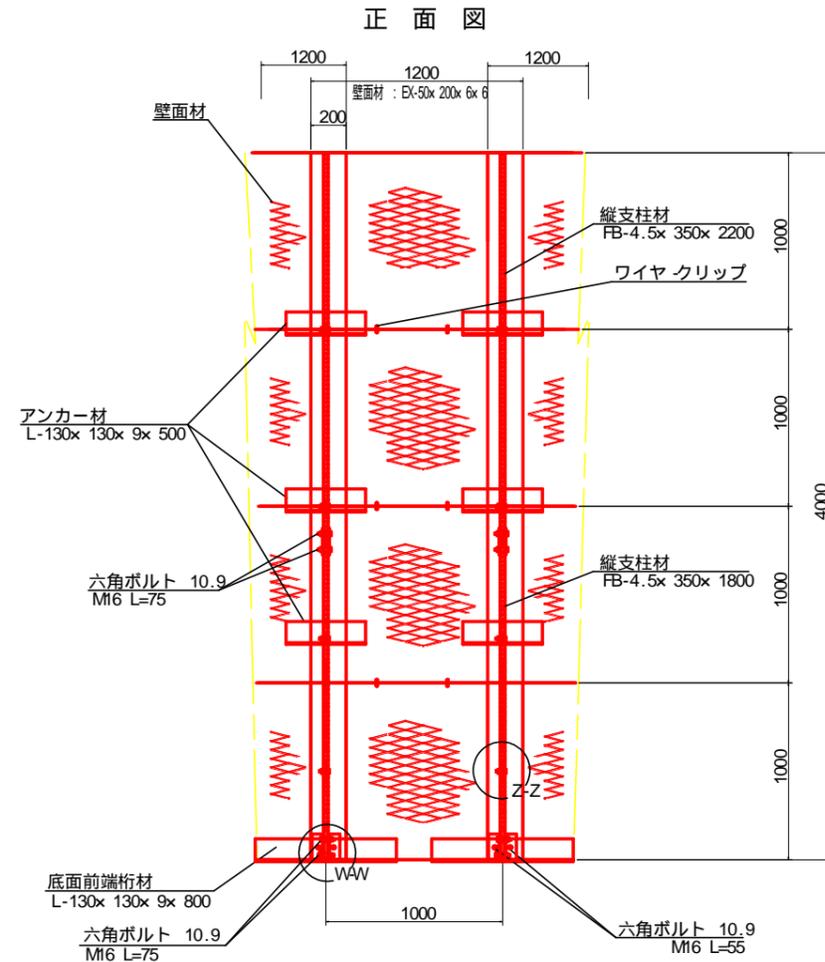
図名	構造図 8/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	図示

被災番号 1号 - 2.0km地点

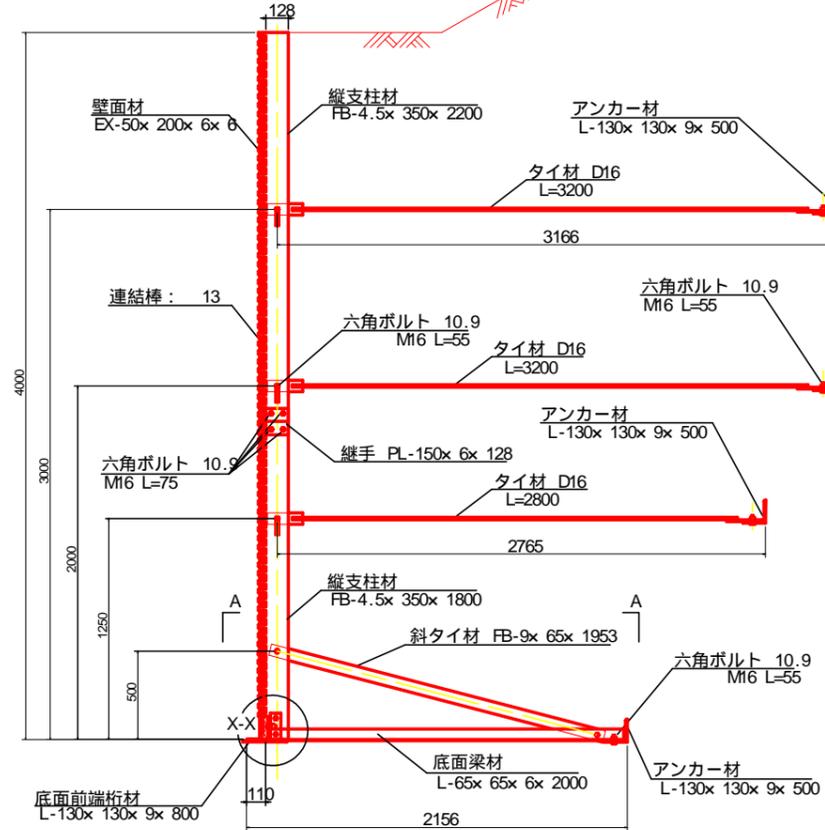
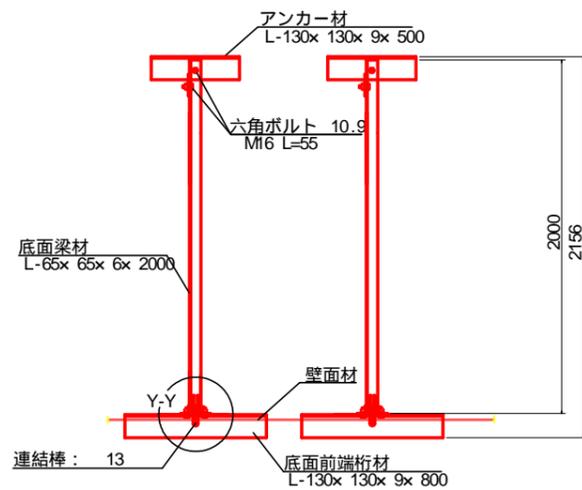
LXウォール構造詳細図 (s=1/40)

- H=4.00m -

断面図



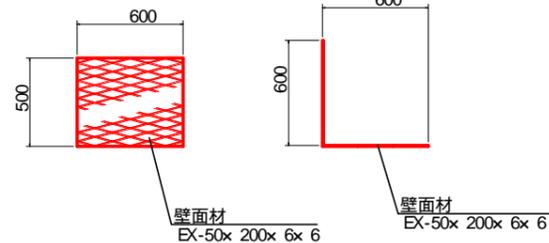
平面図 (A-A)



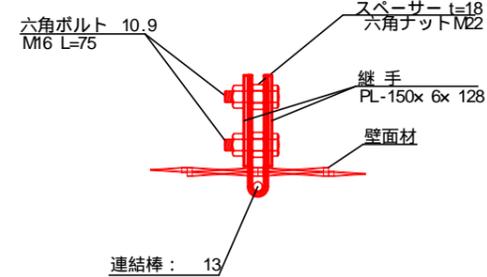
端部壁面材 (側面板)

正面図

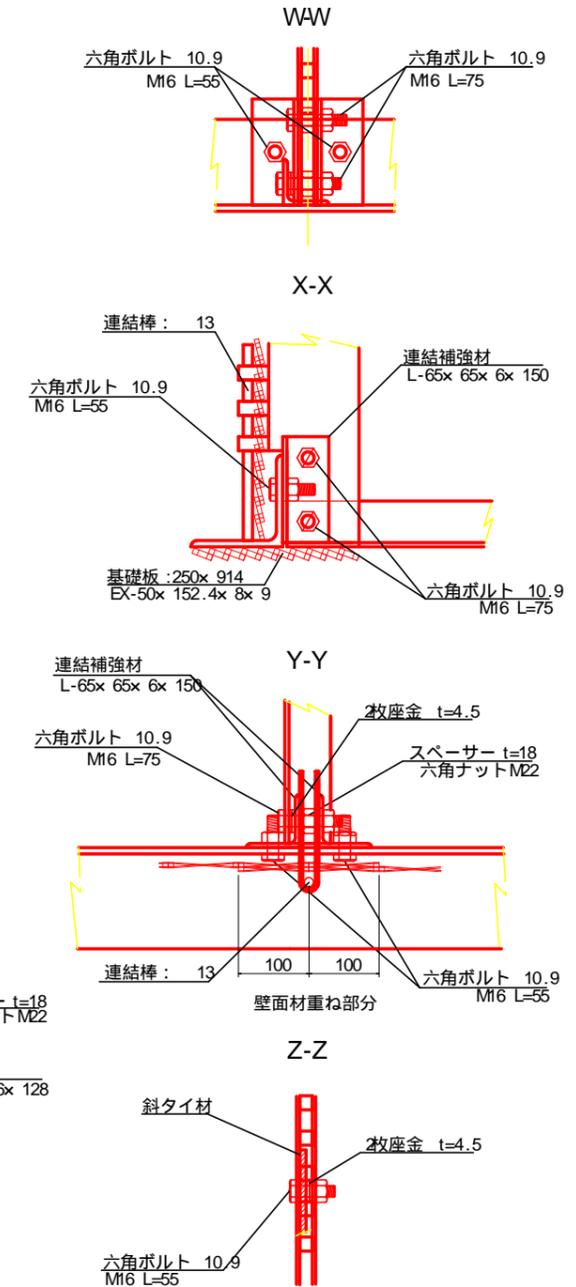
平面図



継手部詳細平面



部分詳細図 (s=1/10)



注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

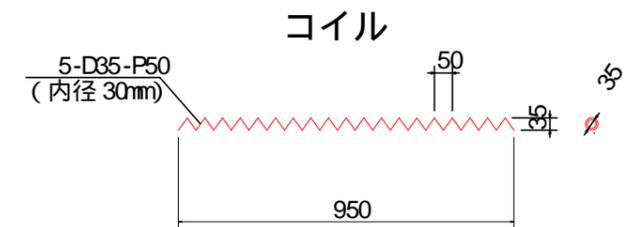
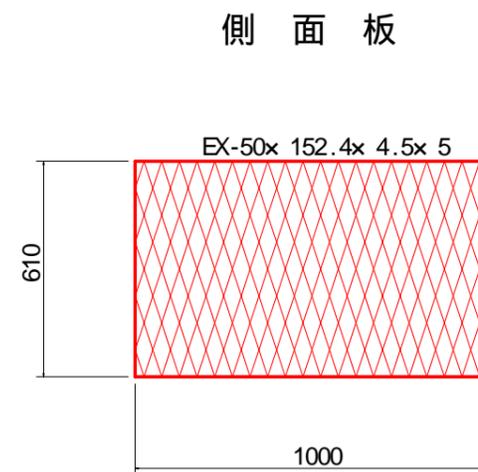
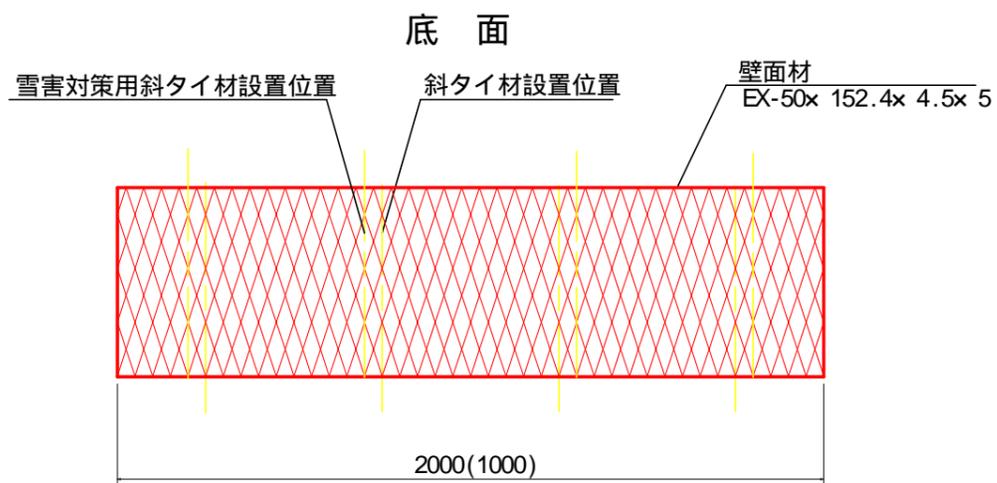
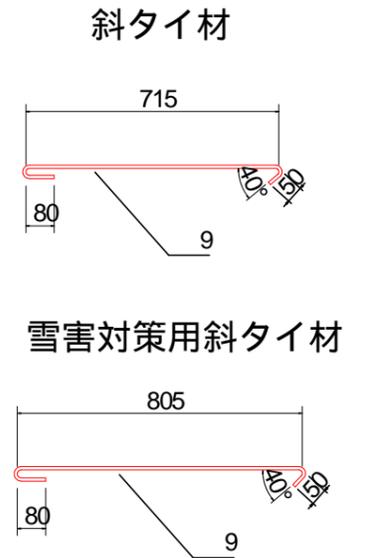
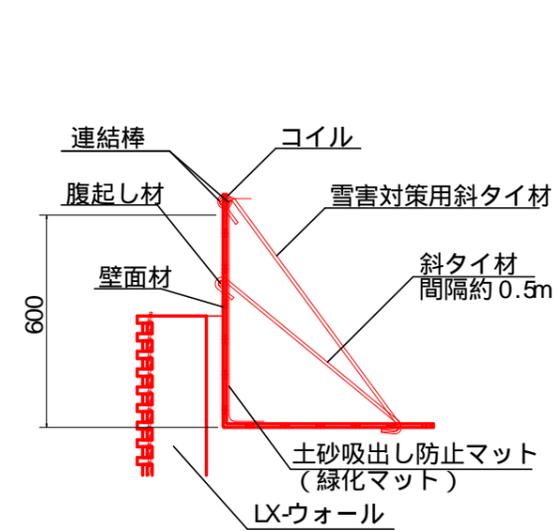
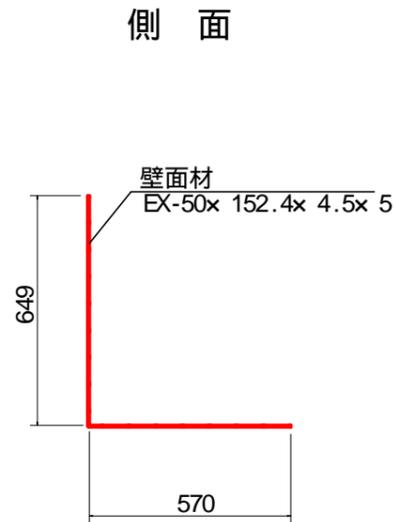
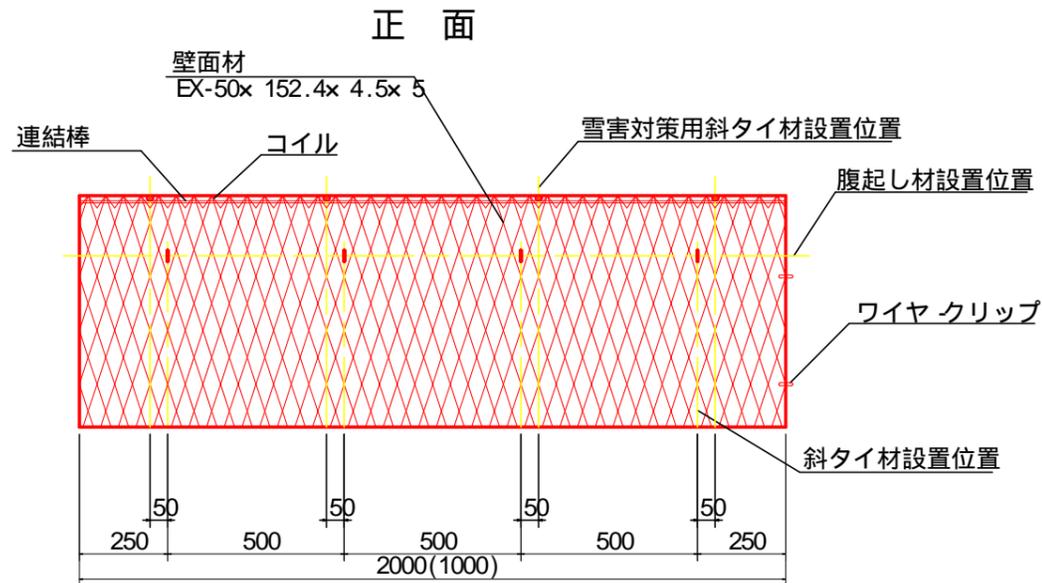
図名	構造図	9/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署	
名称	代内林道 災害復旧工事	
縮尺	図示	

# LXウォール天端I型壁面材詳細図 (s=1/20)

- 雪害対策用コイルキャップ付 -

被災番号 1号 - 2.0km地点

## 壁面材



図名	構造図 10/10
署名	東北森林管理局 由利森林管理署
名称	代内林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 1号 - 2.0km地点

鋼製I型擁壁工 床掘図

